

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2001-75487
(P2001-75487A)

(43) 公開日 平成13年3月23日 (2001.3.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード [*] (参考)
G 0 9 F 9/00	3 1 2	G 0 9 F 9/00	3 1 2 5 G 4 3 5
H 0 4 N 5/64	5 8 1	H 0 4 N 5/64	5 8 1 T

審査請求 未請求 請求項の数 2 書面 (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-292780

(22) 出願日 平成11年9月6日 (1999.9.6)

(71) 出願人 596084039

雪松 文男

兵庫県明石市北王子町12-8

(72) 発明者 雪松 文男

兵庫県明石市北王子町12-8

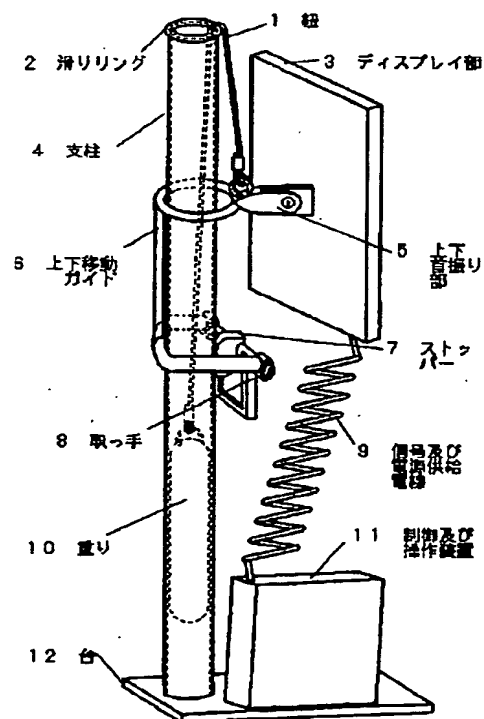
Fターム(参考) 5G435 AA01 BB12 DD03 EE13 EE15
EE16 EE17 EE19 LL04

(54) 【発明の名称】 壁掛けテレビ用スタンド

(57) 【要約】

【目的】 本発明は、テレビやパソコンのディスプレイ部を任意の高さ、向きに調整出来るようにして、利便性、快適性を高めるのを目的とする。

【構成】 滑りリング(2)の部位の、紐(1)にかかるディスプレイ部(3)側の張力と、重り(10)側の張力が、釣り合うように重り(10)を付け、ディスプレイ部(3)を、任意の高さに支柱(4)に沿って移動出来る壁掛けテレビ用スタンド。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 紐（1）を介して、ディスプレイ部

（3）側の重量と、重り（10）の重量のバランスをすることによって、ディスプレイ部（3）を支柱（4）の任意の高さに移動し易くしたディスプレイ装置のスタンド。

【請求項2】 引っ張りバネ（13）又は押しバネ（14）の力を利用することによってディスプレイ部（3）の上下移動を助長して、ストッパー（7）によって支柱（4）の任意の高さに固定できるディスプレイ装置のスタンド。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、薄型テレビ、パソコン等の薄型ディスプレイ部を任意の高さ、方向に調整出来るディスプレイのスタンドに関するものである。

【0002】

【従来の技術】液晶技術の発達やその他の技術の発達によって壁掛けテレビが現実化しつつある。現実的に任意の位置に壁掛けテレビを壁に掛ける場合、壁の強度、治具取り付けの煩雑さなどの種々の弊害がある。又、壁掛けテレビ用スタンドを作った場合でも、ディスプレイ部を任意の高さ方向に、気軽に調整出来るようにするには種々の方法があるが、利便性、快適性、安全性に問題がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】よって、簡易な構造でディスプレイ部を、任意の高さ方向に、力の負担なく安全に調整出来ることである。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は上記の課題を考慮して、ディスプレイ部を任意の高さ方向に、力の負担なく調整出来るようにしたものである。構造を図面によって説明する。図1は、重りを利用したものである。滑りリング（2）の部位の、紐（1）にかかるディスプレイ部（3）側の張力と、重り（10）側の張力が、ほぼ釣り合うように重り（10）を付ける。滑りリング

（2）は、紐（1）の滑りを円滑にするものであるが、適度な滑り抵抗を持っている。ディスプレイ部（3）側の高さの位置によって若干バランスが崩れるからである。取手（8）に連結したストッパー（7）は、例えば、ゴムのように可撓性がある摩擦抵抗の大きなものできている。そして、カム状になっているため、取手（8）が下に降りている場合、ストッパー（7）と支柱（4）との隙間がなくなり上下移動ガイド（6）が固定され、ディスプレイ部（3）が固定される。取手

（8）を水平にするとストッパー（7）と支柱（4）との隙間が大きくなり、重り（10）の作用によって僅かの力でディスプレイ部（3）の上下移動が可能となる。制御及び操作装置（11）は、ディスプレイ部（3）に

必要な電源や信号等を作るもので、信号及び電源供給電線（9）によってディスプレイ部（3）に送られる。ディスプレイ部（3）を出来るだけ軽量化するためである。上下首振り部（5）は、ディスプレイ部（3）の上下角度を調整するものである。図2は、引っ張りバネを使ったものである。支柱（4）の中間位の高さで、ディスプレイ部（3）側の張力と、バネ定数 k の値が小さな引っ張りバネ（13）の張力が、釣り合うようにすることによって、ディスプレイ部（3）の上下移動を援助するものである。図1の重り方式と違いディスプレイ部の高さの位置によってバランスが崩れるが、バネ定数 k の値が小さな引っ張りバネ（13）を使い、さらにストッパー（7）を使うことによって実用の耐えうるものにしたものである。図3は、押しバネ（14）を利用したもので、押しバネ（14）が上下移動ガイド（15）を押し上げることによって、ディスプレイ部（3）の上下移動を援助するもので、図2と同様にディスプレイ部の高さの位置によってバランスが崩れるが、バネ定数 k の値が小さな押しバネ（14）を使い、さらにストッパー（7）を使うことによって実用の耐えうるものにしたものである。

【0005】

【作用】以上の構造であるから、図1においてはディスプレイ部（3）を任意の高さに、力の負担無く移動させることが出来る。図2、3においては、バランスの崩れをストッパー（7）を併用することによって、ディスプレイ部（3）を任意の高さに移動させることが出来る。

【0006】

【実施例】図1について説明する。ディスプレイ部（3）の高さを変えたい時、取手（8）を水平にして、ストッパー（7）と支柱（4）との隙間を作り、任意の高さに移動させ、取手（8）を左右任意の向きに回して後、取手（8）を水平から垂直にすれば、支柱（4）とストッパー（7）との隙間が無くなりディスプレイ部（3）が固定される。ディスプレイ部（3）の上下の向きについては、上下首振り部（5）によって調整する。図2について説明する。引っ張りバネ（13）によってディスプレイ部（3）の高さの移動を援助するもので、使用方法是図1と同じである。図3について説明する。押しバネ（14）によってディスプレイ部（3）の高さの移動を援助するもので、使用方法是図1と同じである。本案は、机と組み合わせ、パソコンにも応用出来る。又、電気制御で行う場合、図1においては滑りリング（2）の所にモーターの回転軸を置き、紐（1）を乗せれば簡単にディスプレイ部（3）の上下の制御が出来る。

【0007】

【発明の効果】ディスプレイ部（3）の微妙な高さや向きが、力の負担なく調整出来る。パソコンに利用する場合、利用者の背丈に合わせて頻繁に調整する場合でも苦

にならない。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の構成を説明するための斜視図。

【図2】本発明の別の使用例を説明するための斜視図。

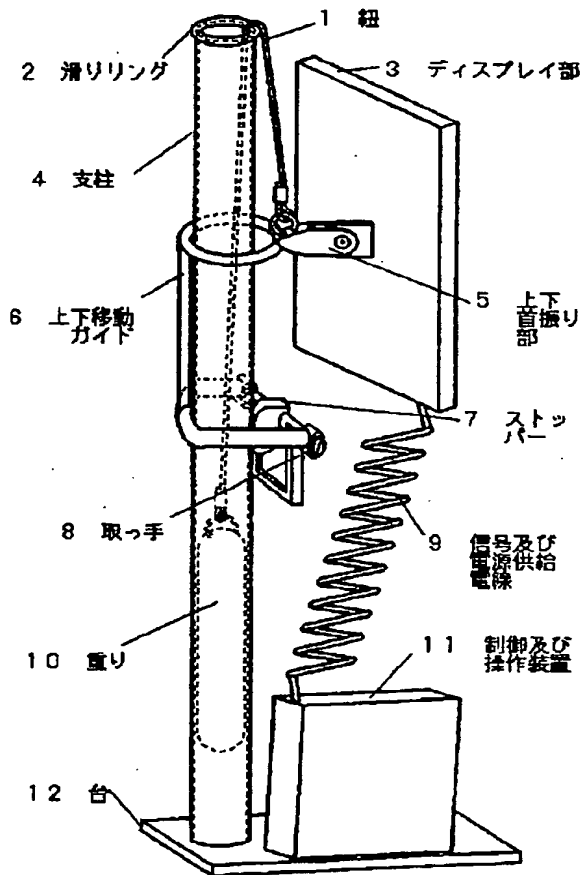
【図3】本発明の別の使用例を説明するための斜視図。

【符号の説明】

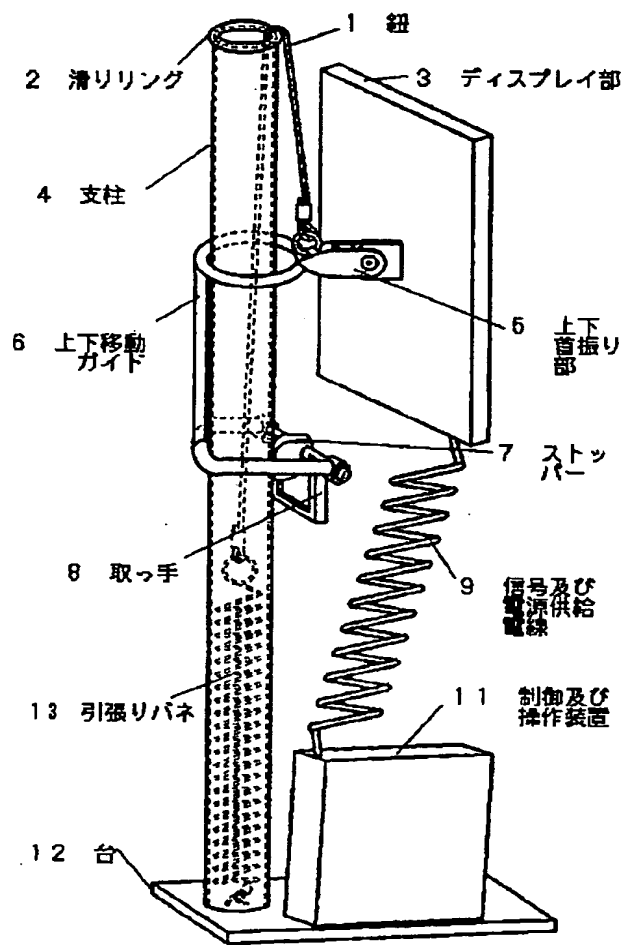
1 紐 2 滑りリング 3 ディスプレイ部
4 支柱

5 上下首振り部 6 上下移動ガイド 7
ストッパー
8 取っ手 9 信号及び電源供給電線 10
重り
11 制御及び操作装置 12 台 13 引
っぱりバネ
14 押しバネ 15 上下移動ガイド

【図1】



【図2】



【図3】

